



ほけんだより 1月



令和2年1月6日
青梅みどり第二保育園保健室

あけましておめでとうございます。新しい年号になって初めてのお正月です。

一年のうちで最も寒い時期です。インフルエンザや溶連菌、感染性胃腸炎など、まだまだこれから流行が懸念されます。お子さんだけでなく、保護者の方も体調管理に十分ご注意ください。

12月の感染症状況	罹患人数
溶連菌感染症	6名
単純性ヘルペス感染症	1名



<やけどに注意しましょう。>

暖房器具や温かい食べ物が欠かせない季節は、やけどをしてしまう危険が高くなります。

やけどを防ぐには「触らせない」

家庭内でのやけどの多くは、キッチンやリビングで発生しています。キッチンでは調理中のようすを見にきた子どもが、ガスコンロやなべ、フライパン、オーブンやトースターなどに触れてしまうことが考えられます。また、テーブル上の熱い飲み物や食べ物に手を伸ばしてしまうこともあります。

家庭内に潜む「やけどをしてしまう危険」について、しっかりと子どもたちに伝えてください。



凍った道を歩くとき：

暖冬とはいえ、雨や雪が降った後の朝方は、冷え込んで道路が凍っていることがあるので注意が必要です。時間に余裕をもって行動しましょう。歩くときは一歩一歩小さな歩幅で、手はポケットに入れずに手袋をしましょう。お子さんにも落ち着いてゆっくりに歩かように声をかけてあげてください。



1月の保健行事

- 7日(火) 乳児体測
- 8日(水) 乳児健診
- 10日(金) 幼児体測

冬は鼻水は日常茶飯事です。幼児クラスの子は、自分で鼻をかめるようになってきましたが、自分で鼻をかめない小さい子の鼻を拭いてあげるときは、保湿剤が入ったティッシュやアルコールの入っていないウェットティッシュなど、やわらかいもので拭いてあげましょう。ゴワゴワしたもので強く拭くと、痛がって拭くのを嫌がるようになります。拭いた後はワセリンやクリームで保湿してあげましょう。

